

[通常機体] サ M 「MSV」

ザクタンク

機体名	ザクタンク	画像
型式番号	MS-06V	
英語名	ZAKUTANK	
所属	ジオン公国軍	
パイロット		
装甲材質	超高張力鋼（超硬スチール合金）	
装備	35mm 機関砲	
作品名	MSV 機動戦士 Z ガンダム	
参考書籍	MSV コレクションファイル [地球編] ガンダム メカニクス	

内容

■ MSV コレクションファイル

地球本土侵攻後、野戦の規模が大きくなるにつれ、ジオン軍は兵站部隊や工作隊の充実化の必要性を感じるようになった。

宇宙国家の軍隊であるジオン軍では、宇宙が主であって陸は従である。

つまりジオン軍の戦争支援システムはあくまでも宇宙戦のために整備されていたのであり、地球規模の地上戦を戦い抜くにはまったくの力不足だったのだ。

その力不足を補うために生まれたのが、廃品 MS を改造した本機 V 型だ。

本機は軍部の計画によって建造されたものではなく、アフリカ戦線の現地部隊が作り上げた機体である。

だがこの MS 再利用コンセプトは各地の部隊から注目を受け、その結果数多くの作業機が建造されたのであった。

■ ガンダムメカニクス

「ザクタンク」は、ジオン軍の制式 MS ではなく、工場で生産された物ではないため 1 つとして同じ機体は存在しない。

もともとは地上の前線部隊が戦闘によって脚部の破壊されたザクの上半身と、マゼラアタックの車体（マゼラベース）を組み合わせて作った作業用マシンだった。

作業用マシンとして MS のマニピュレーター制御の効能は大きく、中でも補給のままならない前線部隊ではこのようなリサイクル機は非常に重宝されたのである。

そのため非公式な機体ではあるが、軍司令部でも奨励したため、多くの部隊で「ザクタンク」が製作された。

基本的には前線基地での設営作業や、MS の移動・運搬に使われた「ザクタンク」であるが、なかには武装を施し、戦闘に使用する部隊もあった。

備考

スペック

項目	内容
全高	14.7 m (14 m 程度)
頭頂高	
全長	
本体重量	53.6 t (50 t 程度)
全備重量	
ジェネレーター出力	951 kw
スラスター推力	
センサ有効半径	3200 m